

初代市長 故 伊藤宏太郎氏

市議会9月定例会で同意



略歴

昭和17年12月14日 出生

昭和40年3月

松山商科大学（現松山大学）商経学部
経営学科卒業

昭和40年4月～平成元年7月

株式会社伊予銀行勤務

平成3年5月～平成7年5月

旧西条市議会議員

平成7年12月～平成16年10月

旧西条市長（3期）

平成16年11月～平成24年11月

西条市長（2期）

平成27年2月12日 逝去

市議会における市長の提案説明の要約

氏は昭和17年12月14日のお生まれで、昭和40年松山商科大学を卒業され、株式会社伊予銀行勤務を経て、平成3年から1期4年にわたり旧西条市議会議員を、平成7年12月から3期9年にわたり旧西条市長を、さらに平成16年11月からは合併後の初代西条市長として2期8年、実に17年の長きにわたり、市長として市政を担当され、その卓越した指導力と情熱をもって本市の発展と住民福祉の向上に寄与されました。氏の功績につきましては、改めて申し上げるまでもありませんが、その一端をご紹介します。

地域産業の活性化に資するため、積極的な産業政策を展開し、第三セクター「株式会社西条産業情報支援センター」を設立し、中小企業経営や新規産業の創造など地域産業の総合的な支援体制を構築、また、平成16年の台風災害による甚大な被害を教訓として、自主防災組織の育成や防災士の養成など地域防災力の強化に努められました。特に将来の世代に対する防災教育である「12歳教育」は、先駆的な取り組みとして国内外から高い評価を受けました。さらに氏は、地域資源の魅力を活用した産学官の連携により、大学等と文化、産業、健康、福祉、スポーツ、環境、防災など幅広い分野で連携交流活動を行い、技術や人材を活用した特色ある地域の活性化に取り組みされました。

さらに西条市の資源である「水」を守るため、地下水の資源調査や保全活動を積極的に行い、その活用については「水と食」「食と農」をテーマに、いち早く農業の総合6次産業化を提唱し、産業活性化に取り組み、これ

が評価され、未来都市モデルプロジェクトや西条農業革新都市総合特区の指定につながり、先進的な取り組みをスタートさせました。

また、市街地の縦貫、横断幹線となる県道開通や市街地周辺の市道整備、中心市街地の整備、公園整備など都市基盤の形成、さらに長年の悲願であった東予港の整備を実現させました。

公共下水道事業、水道事業対策や一般廃棄物最終処分場の整備など生活環境の向上、線引きの廃止による土地利用の活性化などに貢献されました。

学校校舎の耐震化、教育環境の整備充実、生涯学習や地域の活力の拠点である公民館の整備、情報発信拠点と位置付けた図書館の整備、十河信二氏をはじめとする先人の顕彰事業、市民のスポーツレクリエーション振興や健康づくりのための体育施設環境の整備・機会の創出、地域福祉の充実、地域資源を活用したイベントの創出、観光交流センター等の観光拠点の整備、「西条まつり」「石鎚山」「うちぬき」など観光資源のPRなど本市の情報発信の仕組みづくりに取り組みました。

そのほかにも、財政の健全化や行政改革の推進など、氏の功績を数え挙げれば枚挙にいとまがありません。

本市の将来都市像「快適環境実感都市」として本市を大きく発展させたご功績に対し、市民ひとしく敬意と尊敬の念を示し、謝意を表し、偉大なる足跡を永く顕彰し上げることは、名誉市民としてご推薦申し上げることが至当と考え、議会の同意を求めたものであります。